



令和7年度 第11号
(最終号)
令和8年3月16日発行
江津市立江東中学校
文責 校長 奈良井 孝

令和7年度卒業証書授与式を挙行！ ～それぞれの「正解」を探しに、江東中を巣立ちました～

令和8年3月7日(土)、令和7年度江東中学校卒業証書授与式を行いました。天気は崩れ気味で、雨が降らないことを強く願って当日の朝を迎えました。式の途中で体育館の屋根に雨が激しく打ち付けましたが、登校と見送りの時には影響なく、心動く素晴らしい卒業式が挙行できました。参列いただいたご来賓の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

自分たちの意思を示し、周りの人の心を温かくする力を育ててきた13名の卒業生が、作り続けた仲間とのつながりと、それぞれの成長を喜び合って江東中学校を巣立ちました。たくさんのことを私たち教職員に伝えた13名。私たち教職員からたくさんのこと受け取り自分の成長につなげた3年生。答辞も13名で創り上げ、生徒会長の永井歩さんがリードする本文の中に、一人一人が伝えたいメッセージを各自で順番に盛り込み、それぞれが伝える形で答辞を紡ぎました。答辞の終末は、同級生

も知ら
されて
いなか
った永
井さん
の同級
生や参



列した全ての人たちへのメッセージで結ばれ、とても心を打つものでした。自分の「正解」を探し、これからの人生を創る皆さんを、保護者・ご家族の皆さんはもちろん、江東中学校の私たち教職員も、ずっと応援しています。よき人生を手に入れていくことを願っています。卒業おめでとう。そして、ありがとう。



【卒業生13名による答辞でした】【感動の最終学活！そして、学年部教員も一緒に！】



生徒会長の永井さんを中心に13名全員で創り上げた答辞でした。

【答辞一部抜粋（前段略 生徒会長永井さんが読み上げた終末の部分です）】

中学校生活を支えてくれた家族のみんな。

ずっとずっと、私たちを支えてくれて、ありがとうございます。そのおかげで、私は今、ここに立つことができている。思い返すと、中学校生活は楽しい思い出ばかりではありませんでした。勉強や部活がうまくいなくてイライラすることも、人間関係がこじれて悲しくなることも、自身の進路に悩むこともありました。その時に、一番近くで、私たちを信じて見守ってくれていたのが、家族でした。だから、安心して、中学校生活を送ることができたのだと思います。

最後に、仲間へ。みんなと過ごした時間が、私にとって大切な時間でした。楽しいときも、苦しいときも、いつもみんながそばに寄り添ってくれていました。そんなみんなが大好きです。

本日をもって、私たちは江東中学校を卒業し、それぞれが別の、新たな道を歩み始めます。ここで出会えた方々や仲間との別れをさみしく感じますが、思い出はずっと心の中にあり続けます。この思い出を糧に、春からは今より少し自立して、自分自身の道を一步一步進んでいきたいと思います。私たちは、友達、先生方、家族、多くの人たちに支えられて、うまくいかないときは「どうすればいいのか」と自分自身に問い、自分なりの正解を見つけました。

卒業したら、さらに多くの問が立ち上がるでしょう。

答えのない問に、眠れぬ夜もあるでしょう。

簡単ではない問に悩み、涙を流すこともあるでしょう。

でも、

（全員） 「 僕たち、 私たちは、 自分だけの正解を探しにいきます。 」

～卒業生合唱 「正解」～

私は、私だけの正解を探しにいきます。

令和8年3月7日 江津市立江東中学校 卒業生一同

次の春へ向かって！卒業生からの「バトン」を受け取り、1年生、2年生も頑張ります。

卒業式が終わった翌週は何やら寂しく、「いつもの」声が校長室の扉越しに聞こえてきそうな気持ちになってしまう瞬間もありました。けれど今、学校は1年生、2年生の16人の生徒で新たな歩みを始めています。卒業生13人の答辞に込められた「バトン」をしっかりと受け取り、次の春からの江東中を動かす2年生、それを支える1年生がしっかりと頑張りはじめています。生徒会三役による朝のあいさつ運動や、各学年の総合的な学習の時間の様子です。この時期、今年度の学びのまとめをしっかりと、次年度の準備を仕上げていきましょう。「3学期は、0学期」と言われるこの時期を、4月からを思い描きながら生徒も教職員も明るく、元気に進んでいきます。まずはこの2週間、石原生徒会長が掲げる「朝の元気なあいさつ」に生徒も教職員も江東中全員で取り組んでいしましょう。次の春はもうそこまで来ています。



1年生は「ふるさと学習」の一環で、歴史ある竹細工と和太鼓について講師の先生のお話を聞きました。竹を材料に、緻密で精巧な技に触れ地域への認識を新たにしました。



2年生は「江津にあるひと・もの・ことを活かして働くことを考える」というテーマで、講師の方々の指導を受けながらプラン作りをしました。ある生徒は「人が少ないからこそ、人とかかわりを大切にすることを学んだ」と話してくれました。



今年度の江東中学校の教育に対して、ご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。（教職員一同）